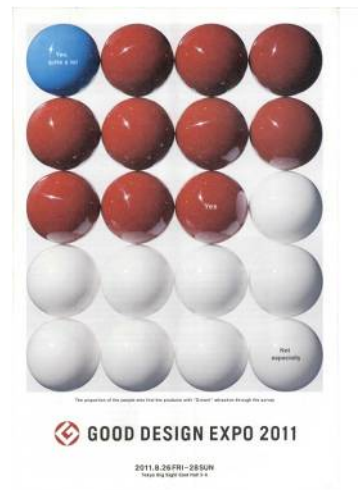


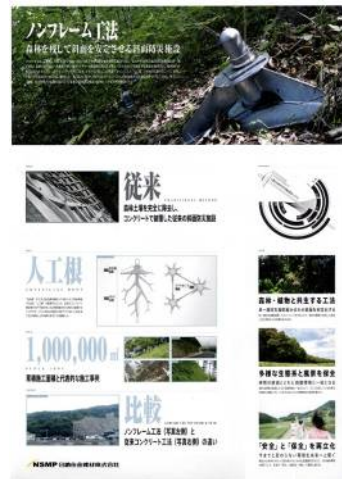
## ニッポンデザインの未来に向かって！

Gマークで有名なグッドデザイン賞というものがあります。

毎年8月後半に、東京ビックサイトにおいて、二次審査にノミネートされたものが展示されており、「グッドデザインエキスポ」と称し二次審査会場を一般公開しております。審査会場を一般公開をするという画期的な催しに、多くの来場者が訪れて、審査に臨む各参加者の意気込みが大いに感じられる夏の風物詩になっている一大イベントです。



私も昨年から展示のお手伝いをさせて頂いておりますが、会場で設営作業を行う傍ら、他の展示ブースを見学できる楽しみもあり、毎回楽しいイベントであります。企業の底力というか不景気な世の中でも独創的なデザイン力で生き残っていこうと考えている企業・団体及び個人のデザイナーがこんなにもいるのかと刺激を受けること度々です。



今年は、エコに考慮し、快適さと豊かさをテーマにしたノンフレーム工法という、森林を残して斜面を安定させる斜面防災施設（土木建設工法）の展示でした。

工法展示ということで、どのようにしたら人の目を引く展示ができるかに苦慮しました。

心配した展示物の搬入時、廻りが白いパネル展示が多い中、すれ違う人達の注目を大変ひくことになり、質問を度々受けました。

ゆえに、人の興味を引く展示という当初の目的は搬入時に達成できた感がありました。

一般開放時大変好評で、多くの来場者に興味を持って頂きました。

コンクリートで被覆した従来の工法との違い、森林・植物と共生し「安全」と「保全」を両立化したノンフレーム工法の考え方の素晴らしさを理解して頂いたみたいです。



今年は未曾有の大震災・度々重なる台風災害等に人々がみまわれ、日本経済の景気が低迷しており、人々の生活やものづくりへの考え方や価値観も大きく変化しつつあります。例えば一つの製品工法がうまれるまでに、多くの人々が関わり、意見をぶつけ合い、それらが本当にこれからの生活に必要なものなのかを探る「適正」が問われる時代なのだそうです。クッドデザインエキスポもそういった意味においても重要な役割を担っていると思います

今回、「グッドデザインエキスポ2011」に関わる事ができたことは、モノづくりの担い手（建築士）のひとりとして、心を新たにされた出来事（イベント）でした！

ものづくりは一人ではできない、皆の思いとアイデアを生かす手法を探すデザイン力を探る旅をこれからも続けていきたいと思ひます。皆様よろしくお願ひ致します。

有)高廣建設一級建築士事務所雄設計工房  
管理建築士 一級建築士 高杉 雄一